

テレワーク導入自社事例

本間社会保険労務士事務所
ワーク&ライフインテグレーション株式会社
代表取締役 本間 あづみ



自己紹介



テレワークの労務管理について動画解説しています。ぜひご覧ください。

札商テレワークポータルサイト

札幌商工会議所では、今後の新型コロナウイルスの影響により需要が高まっているテレワークに関するポータルサイトを開設致しました。当サイトは、札幌でテレワークの導入を検討する事業者様とテレワーク関連機器・サービスを取り扱う事業者のマッチングを目的に取組事業者の情報を掲載しております。

お問い合わせの際は、記載がございます企業情報をご覧いただき直接ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

※テレワーク導入にあたり活用可能な補助金や、助成金の情報についても随時更新していく予定です。
掲載希望の企業は下記の「掲載企業申込」より専用フォームをご活用下さい。(当所会員企業以外の方はご相談ください)

掲載企業申込

【テレワーク導入に伴う労務管理のポイント解説動画】



①就業規則編 (視聴時間: 約9分) ②勤怠管理編 (視聴時間: 約9分半) ③労災関連編 (視聴時間約5分)

本間社会保険労務士事務所 代表
ワーク&ライフインテグレーション株式会社 代表取締役
一般社団法人北海道ワークスタイルクリエイト 理事

【主な経歴】

昭和49年生 平成6年北海道武蔵女子短期大学卒業後、住友生命保険(相)入社
平成14年に住友生命保険(相)を退社後、本間社会保険労務士事務所を開業
平成26年ワーク&ライフインテグレーション株式会社設立

【主な資格等】

- 特定社会保険労務士、ITコーディネーター、FP技能士1級
- 札幌市ワーク・ライフバランス推進アドバイザー
- 北海道新聞社HATAJOラボ企業サポーター
- NPO法人退職金・企業年金アドバイスネット北海道副理事長
- 平成28年度厚生労働省育児プランナー
- 平成28年度、29年度厚生労働省介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業雇用管理改善企画委員
- 厚生労働省職場のハラスメント対策セミナー2019講師

【その他】 夫1人、娘1人、猫1匹、金魚1匹

事務所紹介

- スタッフ8名全員子育て女性
産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、保育士、
ファイナンシャルプランナー、システムエンジニア



- 平成21年 札幌市ワークライフバランス先進取組企業ステップ3 認証取得
さっぽろ市民子育て支援宣言取組企業に登録
- 平成28年 北海道あったかファミリーに登録
- 平成28年 総務省テレワーク先駆者百選に認定
- 平成29年 札幌市テレワーク補助金採択
- 平成29年 北海道なでしこ応援企業表彰受賞
- 平成30年 札幌市ワークライフバランスプラス先進取組企業ステップ3認証取得
- 令和元年 北海道働き方改革推進認定ゴールド認定取得

～経営理念～

「人」を大切にする経営を目指し、三方良しの（顧客にとっても、従業員にとっても、経営者にとっても）働きがいのある職場づくりを提案します。



© 2020 officehonma



Q 人材確保や テレワーク導入... 中小企業の人の悩みは 誰に相談したらいい?



A. 中小企業の「人」に関するお悩みは
さっぽろ人材サポートデスク「ひとサポ」に
おまかせください!

社会保険労務士などの 専門アドバイザーが相談に応じ 課題解決を図ります!



札幌中小企業支援センターでは、専門のアドバイザー
(社会保険労務士等) による人材確保・テレワーク導入
相談窓口「さっぽろ人材サポートデスク(ひとサポ)」
を開設しています。

効果的な求人方法、職場環境の整備やテレワーク、
時差出勤の導入、就業環境の整備などの取り組みや
休業補償などの労務面での相談に応じます。

※ハローワークに提出する求人票へのアドバイスや札幌市就業
サポートセンターへの求人情報の登録もお手伝いします。

- 対象** 市内の中小企業経営者
(個人事業主のかたも含まれます)
- 日時** 原則：毎週水曜日・金曜日
(午前) 9:00~12:00 (午後) 13:00~16:00
- 場所** 札幌中小企業支援センター
札幌市中央区北1条西2丁目
経済センタービル2階
- 相談方法** 事前に下記までお電話でご予約ください。
電話やZOOMでの相談も承ります。
- ご予約** ☎ **011-200-5511**
札幌中小企業支援センター
受付時間: 9:00~12:00, 13:00~16:00

事前
予約制
30分

電話
相談可

ZOOM
相談可



詳しくは裏面をご覧ください▶



ひとサポで相談できること

人材確保

- 効果的な求人方法は?
- 求人へのアドバイス、求人票の添削をしてほしい
- 自社の魅力を再発見したい
- 人材育成で悩んでいる

※札幌市就業サポートセンターへの求人情報の登録
もお手伝いいたします。
※人材紹介や就職あっせんは取り扱っていません。

職場環境整備

- 仕事と育児・介護・闘病等を両立できる職場にしたい
- ワークライフバランスに取り組みたい
- 健康経営に取り組みたい
- ハラスメント対策をしたい

テレワーク導入

- テレワークを導入するには?
- テレワーク時の勤怠管理やコミュニケーションは?
- 在宅勤務規定を作成したい

働き方改革・労務相談

- 働き方改革への対応を知りたい
- 長時間労働を是正したい
- 同一労働同一賃金とは?
- 職場でのトラブルについて相談したい
- メンタル不調者への対応は?
- 就業規則を見直したい

その他

- 上記で使える助成金は?
- 職場におけるコロナ対策はどうしたら?

「ひとサポ」アドバイザーの紹介

人材確保・テレワーク導入相談窓口さっぽろ人材サポート
デスク「ひとサポ」でお待ちしています!

「ひとサポ」担当者・専門分野カレンダー▶

右記QRコードから「さっぽろ人材サポートデスク(ひとサポ)」人材確保・テレワーク導入相談デスクについて
たくさん、担当者・専門分野のカレンダーが見られます。



本間 社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 ITコーディネーター	大谷 社会保険労務士	蜂谷 社会保険労務士事務所 産業カウンセラー キャリアコンサルタント、SE	小林 社会保険労務士事務所 キャリアコンサルタント	藤塚 キアリアフォロアカデミー講師 2級キャリアコンサルティング 技術士
専門 職場環境整備、 テレワーク、働き方改革、 労務、その他	専門 職場環境整備、 テレワーク、働き方改革、 労務、その他	専門 人材確保、 職場環境整備、 テレワーク、その他	専門 人材確保、 職場環境整備、 テレワーク、その他	専門 人材確保、 職場環境整備、 テレワーク、その他

お申込・お問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団(運営先)
札幌中小企業支援センター
札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル2階
TEL: 011-200-5511 URL: <https://chusho.center.sec.or.jp>



委託元

札幌市経済観光局産業振興部
商業・経営支援担当課
TEL: 011-211-2372



仕事と家庭の両立、 人財の流出を防ぐため 2014年よりテレワークを導入

【全員が子育て世代】

- ・仕事と育児との両立が必須
- ・子供はしょっちゅう風邪をひく…
- ・繁忙期がインフルエンザ流行時期
- ・夫が単身赴任のため定期的に赴任先へ行きたい

【半分以上がアラフォー世代】

- ・介護ショック（2025年問題）へ向けた体制作り

【コロナ対策その他】

- ・感染症対策でもあり、BCP対策にも
- ・ワーケーションもしたい

本間社会保険労務士事務所

社会保険労務士業

所在地 ● 札幌市中央区北4条西17丁目1-10 グリーンヒルズ2階

電話番号 ● 011-616-8177

代表者 ● 本間 あづみ

従業員数 ● 6人

事業内容 ● 労務管理コンサルティング、労務監査（労務診断）、就業規則の作成・改訂、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、育児・介護・闘病との両立支援コンサルティング、労働・社会保険手続、給与計算アウトソーシング

URL ● <http://www.honma-office.jp>



テレワーカー 業務サブリーダー
伊藤 やよいさん



育休明けの「リハビリ」として在宅勤務を利用

本間社会保険労務士事務所事務を担当する伊藤やよいさんは、在宅勤務制度を利用することで、一度は覚悟した退職をすることなく働き続けることができました。

伊藤さんは3人目のお子さんを出産後、お子さんが重い病気を抱えていたために家庭との両立に不安を持ち、退職を考えたそうです。職場に相談したところ「まずは休んでみては」という提案を受け、育児休業を取得。2年が経つころにはお子さんの体調も良くなり、在宅勤務の形で復帰しました。伊藤さんは「仕事から完全に離れていたので不安もありましたが、在宅勤務で『リハビリ』のように徐々に仕事に慣れることができました」と振

り返ります。

在宅勤務中は、個人情報扱わない業務を主として、自宅の家族の立ち入らない専用スペースで、PCのリモートデスクトップ（※1）機能を活用し、自宅のPCで職場のPCと同じような環境を実現し、働いていました。また、紙の資料は鍵つきのキャビネットに保管する、資料は使用後すぐにシュレッダーで破棄するといったルールをセキュリティ対策として徹底しました。現在はお子さんを保育園に預けての出勤に切り替え、短時間勤務をしています。

クラウド活用前

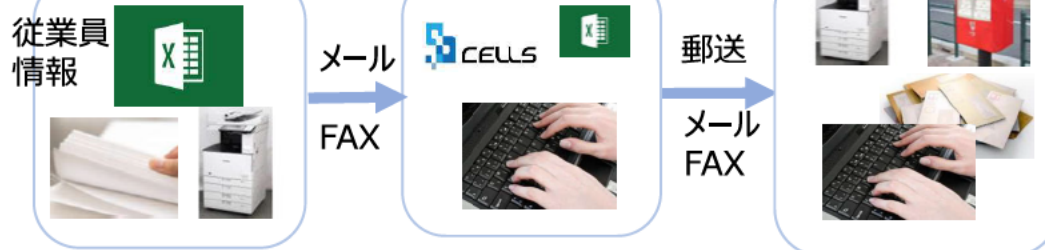
テレワークのためにクラウド化を促進

クラウド活用後

給与計算



社会保険などの手続き

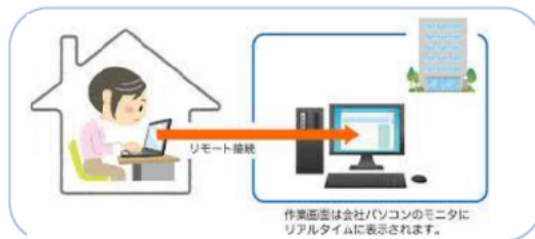


その他

事務所内の情報共有は社内ネットワークで



顧客との情報共有はメール、電話、郵送



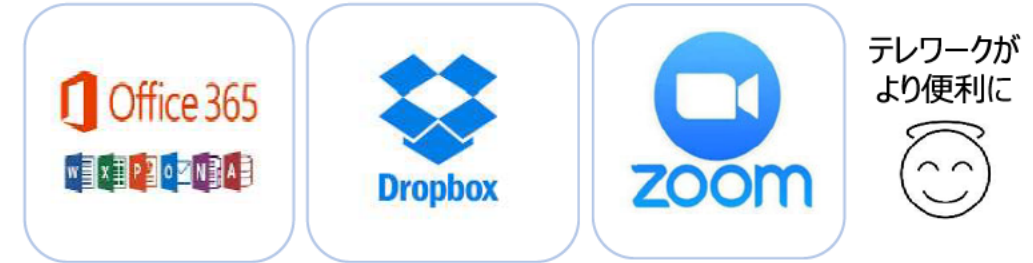
給与計算



社会保険などの手続き



その他



2019年より生産性を上げるため、リモートでも操作可能なRPAを導入

札幌市業務管理補助金を活用しRPAを導入、実証実験を開始

本間社会保険労務士事務所

- 所在地/札幌市中央区北4条西17丁目1-10 グリーンヒルズ2階
- TEL/011-616-8177 ●FAX/011-644-6675
- 代表者/代表 本間 あづみ ●設立/平成14年8月
- 従業員数/7名
- URL/<https://honma-office.jp/>

業務管理事例

01



代表 本間 あづみさん

導入したきっかけ

ルーティン作業はロボットで代用し、より専門業務に集中したいと考えたから。
まず、自分たちで導入し、その効果を検証した上で顧客へ提案し、人材不足解消につなげたい。

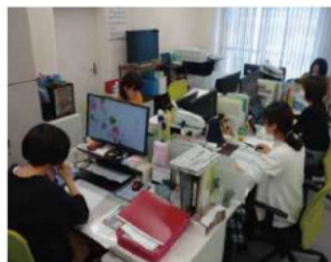
導入した結果

ルーティン作業にかかる時間が1/6まで削減できた。

POINT



▲導入したロボット



▲従業員は全員女性。子育て女性が働きやすい環境が整っている

INTERVIEW

働き方改革の一環として。 そして、さらなる顧客サービスに活かせるように。

私たちは、社会保険のお手続きや労務相談、働き方改革に関するコンサルティング等を行っています。今回、働き方改革の一環として、ルーティン作業をロボットで代用し、高付加価値なサービスに専念するために、業務管理システムを導入しました。RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション～パソコンやサーバ上にあるソフトウェア型のロボットにデスクワークの一部を任せること）の有効活用により労働時間の削減が可能になると、専門業務に専念できるだけでなく、育児や介護、闘病との両立が可能になり、人材不足解消につながると考えています。同様に人材不足で苦しみ中小企業へも波及させていきたいと考えています。

導入した「ロボパット」というシステムは、作業の指

示を設定すると、日々ロボットが自動で作業を行ってくれるものです。実際に行っている作業の例として、社会保険等の電子申請後の公文書ダウンロード、給与計算業務のデータへの自動転記などがあります。システムの開発や修正も、専門的な知識を有する技術者は必要なく、一般的な事務職でも操作が可能でしたので、導入から運用までスムーズに行えました。

「ロボパット」の導入で、関連業務の時間が1ヶ月平均30時間程度から5時間程度まで削減でき、より専門業務に時間を充てることが可能になりました。今後は、定期的なミーティングを行い、これ以外にも自動化が可能な業務を洗い出しながら、反映できる業務を増やしていきたいと思っています。

RPA導入により削減した業務

各種手続業務（毎日）

社会保険等各種手続きの
電子申請後の公文書
ダウンロードと仕分け

給与計算業務（毎月）

給与明細（Excel）
をPDFに変換

従業員へメール

その他業務（毎月）

関係先へメール
（税理士・顧問先）

給与計算業務（毎月）

勤怠データを
CSVシートに転記

・テレワーク実施時には必須の
「業務の見える化」

見える化の際に、定型業務と言わ
れるルーティン作業は、RPAに任
せることで更なる業務プロセスの
改善になった。

・コロナによりテレワークの頻度
が上がったため、2020年12月より、
リモートでもより操作性のよい
RPA（エネロボ）に入れ替えるこ
とで、テレワークでもロボットの
開発がしやくすなった。

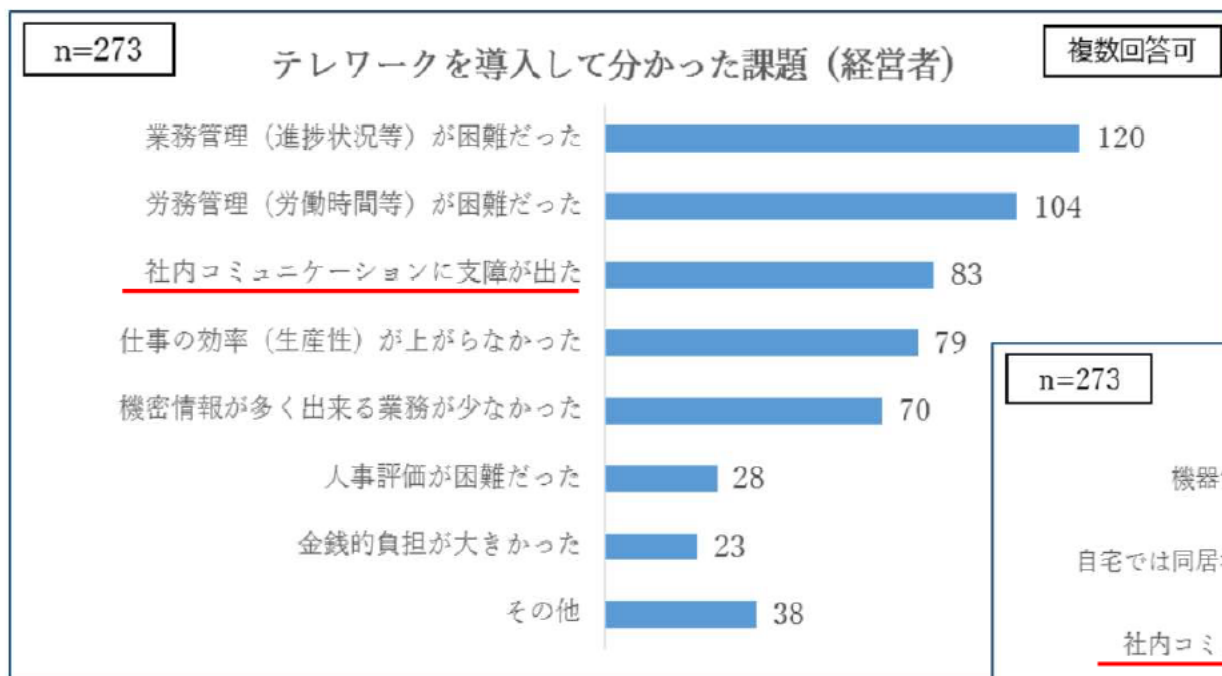
テレワークの課題



テレワークのメリット・デメリット

会社にとってのメリット	従業員にとってのメリット
<ul style="list-style-type: none">• BCP対策、感染防止対策• 遠隔地の優秀な人材の確保• 育児・介護・闘病等による労働者の離職の防止• 障害者の雇用確保• 資料の電子化や業務改善の機会となった →業務効率化による生産性の向上• オフィスコストの削減	<ul style="list-style-type: none">• 感染防止• 通勤時間の短縮• 業務の効率化・時間外労働の削減• 育児や介護、闘病と仕事の両立• ワークライフバランス
会社にとってのデメリット	従業員にとってのデメリット
<ul style="list-style-type: none">• 労働時間の管理が難しい• 情報セキュリティ対策が必須• 従業員間のコミュニケーションが粗雑になりやすい →メンタルヘルス不調、ハラスメントの発生• 適正な評価がしづらい	<ul style="list-style-type: none">• 仕事と仕事以外の切り分けが困難• 他の従業員とコミュニケーションが取りづらい →メンタル不調になりやすい• 長時間労働になりやすい• 運動不足

テレワークを導入してみたてわかった課題



※令和2年度（2020年度）北海道
「道内民間企業におけるテレワーク普及実態調査の結果について」より

コミュニケーションへの対応

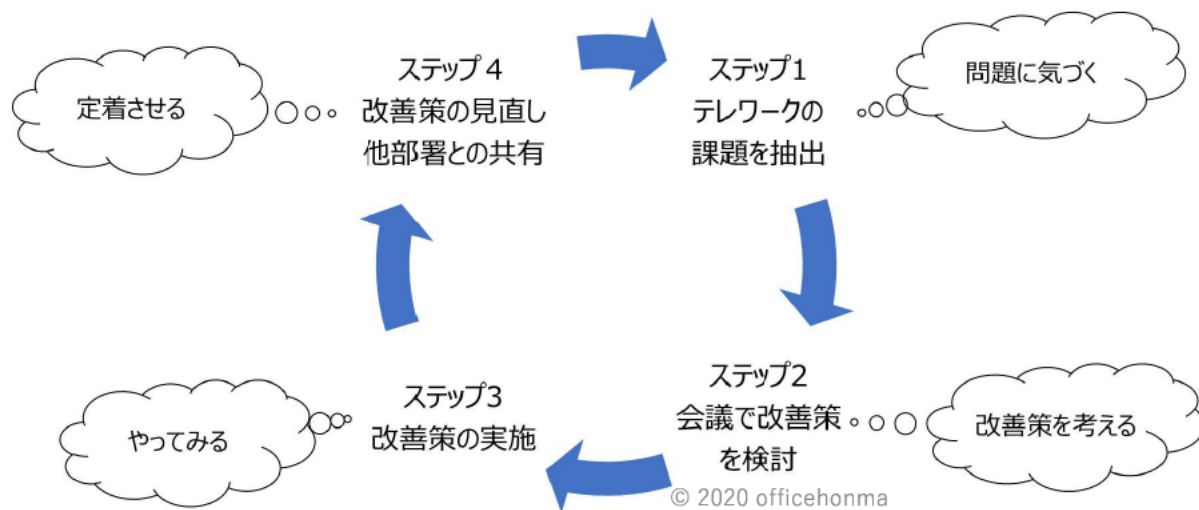
- 普段よりコミュニケーションの量を増やさないと伝わらないことを肝に銘じる。
- チャットなどでは文字に表情をつける。「ありがとう」→「ありがとう！(^^)」
- 否定的な表現は肯定的な表現に変える。「～はしないでください」
→「～した方が良いでしょう」
- I(アイ)メッセージで伝える。「どうして、あなたは～してくれいなのですか？」
→「私は～してくれると嬉しいです」
- 命令を疑問文にしてみる。「～までに～しなさい」→「～までにできますか？」
- ZOOMで音声だけ繋ぎ、気軽に話しかけられる環境を作る。

オンラインでは無表情になりがち、マスクをつけていると更に無表情に。
そして、圧倒的に「うなずき」も減少。対面548回→WEB153回
こうしたことから、WEB会議では意見が出にくい、盛り上がらないなどの問題が…

- WEB会議を開催する場合は、入社している人も全員がWEB会議で参加する
- 会話をしっかり聞いて心からうなずく「うなずき係」を最低一人は決める
- ジェスチャーやリアクションは、対面よりもオーバーにする

その他の課題への対応

- 会社貸与のPCが重くて運びにくい→軽量のモバイル端末に変更
- 通勤が無いためますます歩かなくなる。運動不足に
 - 長座アラートや万歩計のついたスマートウォッチを貸与、健康管理の意識付けに
 - 朝のラジオ体操を一緒にする
- テレワーク中の社員にかかってくる電話の取次ぎが負担
 - 会社貸与のスマートフォンを貸与したが、現在はクラウドPBXを検討中
- テレワークの改善について継続した話し合いの場を持つ



ご清聴ありがとうございました



<http://honma-office.jp/>



Work&Life
Integration Co.,Ltd.

<http://worklife-inte.co.jp/>